

第2回 栃木県立益子芳星高等学校 学校運営協議会 報告

開催日時 令和5年11月7日(火) 14:30~16:30

開催場所 本校会議室

出席委員 大塚 昌哉 小倉 美保 加藤 義勝 福島礼司
篠原 泰三 佐藤 広志 宇都木修一

1 開会

2 会長挨拶

11/3付の真岡新聞に卒業生が絵画コンクールで賞を取った記事が掲載されていた。陶器市はたくさんの高校生がボランティアをされていて嬉しくなった。

3 校長挨拶

陶器市のボランティアに130名が参加した。先週の木曜日に文化部発表会を行い、会場が一体となって盛り上がった。その前は体育祭、今週はマラソン大会と毎週木曜日に行事が3週間続く。地域によっては感染症で学級閉鎖が相次いでいるが、本校は少ないので11月下旬の修学旅行も無事に終えたい。本日の5点の報告事項、特に再編計画等を踏まえて本校の魅力化のために忌憚のないご意見をお願いしたい。

4 出席者紹介

2名欠席

5 報告事項

(1) 一日体験学習実施状況報告 資料1

R2~R4まで中学3年生のみだったが今年度から保護者も参加可能にした。中学生の参加人数は昨年度216名→177名に減少。熱中症対策のためICTを活用し各教室で全体会。中学生にとって親しみやすい存在の在校生がコースを説明。部活動紹介の動画が大好評。その後は10~15人グループで校内ツアーを実施。生徒会や家庭クラブが活躍してくれた。その間、保護者には進路状況の説明を行った。

(2) インターンシップ事業実施状況報告 資料2

昨年度2クラス69名→3クラス114名に増加。新たに15の新規事業所を開拓し44企業にお世話になった。

この学年はコロナ禍で中学校のマイチャレンジを経験していない。事前と事後のアンケートの結果「失業の恐れが少ない」「日曜祭日が休み」という項目が職業選択の理由の上位にくる等、全国の傾向と同一である。

企業アンケートの結果は「今の高校生の考えに触れられる」「将来の人材育成につながる」等肯定的な意見も多いが「挨拶ができない」「積極性がない」等の厳しい意見もあった。

生徒の感想で「良い面だけではなく大変な面に触れたことで、その職業を目指すことを改めて考えた」等インターンシップの効果があったと思われる意見が寄せられた。

生徒の大半が製造業に就職する実情を踏まえて事業所選定を行ったが、製造業の繁忙期と重なる、生徒の方向性が定まらずにミスマッチになる、体調管理ができずに迷惑になるなど反省点も多い。

(3) 進路状況報告 資料3

進学者は公募推薦・指定校推薦を利用する生徒が多い。積極的に特待生制度にチャレンジしている。自分の選択したコースに合った大学・専門学校を選び早々と決めている。

就職者は9割が製造業。サービス・小売業が1割。インターンシップとタイアップして追跡調査などを行い長期で様子をみたい。

このところ進学者の数を就職者が上回っているのは上級学校から就職するより高卒で就職したほうが良い場合があることに生徒も保護者も気づいているからではないか。芳賀地区はアクセスの悪い地域なので進学も就職も自動車が必要となると、就職を選ぶのではないかなど理由が考えられる。

【意見交換】

- インターンシップは企業にとっても生徒にとっても良いこと。進学コースの生徒も体験できれば、将来の職業選択の幅が広がるのではないかな。
- インターンシップの前のお祭りの参加などでコロナが広がってしまったのは残念。高校生はどのくらい祭りに参加しているのか。
- 高校生の参加は男女問わず多い。山車を引くなど中学生の頃から役割が決まっている。今年はコロナの感染防止対策が少しゆるくなってしまった。
- 子供が2年生でインターンシップに参加した。どのようなことをやりに行くのか保護者があまり理解していなかった。保護者だけでなく、子供の友人の話も聞いてもあまり理解しないまま参加している生徒もいたらしい。自分も職場で大学生のインターンシップを担当しているが、なんとなく周りがインターンシップやっている雰囲気だから参加したという大学生も多い。さらに高校生はまだまだ自覚が低い。世の中で仕事をするを軽んじている子が多い。後輩に与える影響まで考えていない。

大人の善意が子供たちに伝わりきれていない。自分のやりがいをみつけるのは自分でしか考えられない。色々なところに行って色々なことをしてきたほうが良い。子供の気持ちに沿った方法が何かあると良い。

- 保護者の生の声をきかせていただいた。外部講師選定の際の参考にしてもら

えると良い。

- 学校が完璧な事前指導を行う時間を確保するのは大変ではないか。現場で怒られた経験も気づきになる。失敗を織り込み済みで参加する。事前指導をやりすぎでも駄目なのではないか。
- 色々な経験をして地域全体で生徒を育ててもらいたい。

(4) スクール・ポリシー (案) について 資料4

スクール・ミッションとは各学校に求められる役割。スクール・ポリシーは来年度の5月に公開される。委員会を5回実施し、その後全職員で検討し8月に決定した。

→ 特に意見等は出されなかった。

(5) 第三期県立高等学校再編計画 (案) について 資料5

資料5の最初のページは再編計画の本校について抜き出したもの。4～8クラスの標準の学級数を下回るのが3学級特例校。今回は県内で本校のみ。3学級特例校になると今後は地元地域と協議し2学級特例とするか統合を考えるとなるというルールで動くことになる。

単位制を導入するので様々な科目を開設することができる。現在でも本校は職業系科目を多く設定している。ここから更に英語や数学などの科目を習熟度別の少人数制等にすることなどが考えられる。

真岡工業と真岡北陵が統合することによって介護福祉科が廃止になる。本校に福祉コースが設置される予定。高校再編計画は12月ころに決定することになりそうである。

特例校には公営塾を設置している学校が多いので研究中。

12月中に先進校の視察を実施。

【長野県立軽井沢高等学校】

- ・学校独自の設定科目
- ・年間を通じたインターンシップ
- ・ベーシック I・II などの学びなおし(ついていけない生徒のフォロー)

単位制をいかした自由選択となっており、総合学科に近い。いかにして生徒に科目を選ばせるかの参考になると考えている。

【岡山県立和気閑谷高等学校】

本校と同様にコミュニティスクール。町と連携しているなど本校と似た部分が多い。江戸時代の庶民の為の学校がベースになっている。儒教孔子の教えを学校の教育に取り入れている。公営塾の実践をしている。

現在益子芳星高校は真岡鉄道の方や益子町観光協会の方の講話等をき

いて地域のPR活動など様々なことにチャレンジしている。今後3学級になることでどのように上手くまとめるかが課題である。2-1(進学コース)だけがましこ未来大学で2-2・3・4(保育・デザイン・食物調理・ビジネス・情報スポーツ)はインターンシップ。2-1の未来大学の内容を他のクラスはわからない。進学コースもインターンシップの実施という意見をいただいたが時間的制約があるので現状は難しい。

探究活動として1年・2年と地域連携・体験活動をしているのに3年になると進路探求として今までの活動から切り離されてしまうのが残念である。

6 協議

【再編計画を踏まえた益子芳星高等学校の魅力化・特色化について】

- 次年度から定員160→120名になることについて、委員の皆さんから意見を出してほしい。インターンシップについては受入れ企業の拡大があれば生徒のニーズに合致できるのでは。
- 受入を確保するのが優先になり、地域にある企業から選択するから狭くなってしまう。幅を広げることができればいい。
- 1～2年で学んだことが進路に結びつくように、生徒自身がやりたいことをみつける手助けになる進路指導をしてほしい。
- ましこ未来大学の中身がよくわからない。
- 町の生涯学習課で実施していた町民大学が終了し、社会人から次の世代の人材のためにということで未来大学という名前で継続している。インターンシップと比較すると実務的な経験は弱いかもしれない。しかしボランティア活動などを通じて、世代をこえた交流や人前で話す経験をしている。
- (未来大学のカリキュラム案配布)それぞれの考えていたことを具現化、地域の魅力を発信するため、アドバイスをもらいながら形に変えていく。実践力・企画力の育成カリキュラムになっている。
- この3年間の先を考えていってほしい。自分の進みたい方向を見つけ目的意識を強く持たせれば、自分で探すようになる。
- 長い間ボランティア活動をしてもらっている。観光客からの評判がとても良い。ボランティアを体験した生徒の感想はどうか。
- 1人1枚、体験を紙にまとめさせ振りかえりをしている。
- 中学生が高校生ボランティアを見ての感想が「学校指定ジャージはちょっと」である。予算が難しいがボランティア用のデザインの良いTシャツ等でお洒落な感じにしてもよいのでは。
- 町の観光協会からの依頼で陶器市来場者を対象に高校生ボランティアにアン

ケートを取ってもらった。高校生が自発的にアンケートを考えて実施し、分析してネットで配信するなど高校生らしいアイデアで何かできるのではないか。

- 今後新たな活動を実施するのであれば未来大学や地域PR活動を整理して精査していく必要がある。益子芳星高校ののぼり旗を同窓会の予算で益子印刷さんに作っていただいた。PR活動に利用していく。
- 他のサークルから益子芳星高校はもっと自分たちの活動をPRするべきとの意見を聞いた。これからも活躍してほしい。

7 その他

今年度は1回も生徒の発表を見学していないので、第3回として1月に2年生のコース別学習探究授業の発表を見学予定。第4回はR6年3月に実施予定。